



株式会社アルゴロマン 代表取締役

沖野 昇平 さん



世界に注目される幼児教育都市、FUKUSHIMA。 5歳から世界中の人とおしゃべりする子どもたち。

住 所 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3
恵比寿ガーデンプレイスタワー 27 階 COREEBISU 内

e-mail algoroman.kids@gmail.com

U R L <https://algoromankids.wixsite.com/info>
<https://meetstheworld.studio.site/>

創 業 2017年12月7日

事業内容 オンライン教育プログラムの開発および販売



🔥 幼い子どもたちに友達づくりの成功体験を

沖野昇平さんは1993年、神奈川県に生まれました。学生時代は東京大学大学院で心理学を研究し、その後、「心理師」という仕事を通じて、赤ちゃんや子どもたちの発達への支援をしています。福島県との関わりは東日本大震災での子ども支援の活動がきっかけで、被災した東北3県には100回以上来訪したそうです。この縁から、沖野さんにとっての東北は、第2のふるさとと呼べる存在で、この土地の子どもたちが、将来広い世界に羽ばたいていく環境づくりを行っていききたいという思いがあります。

今回、沖野さんがリリースしたサービスは、子どもたちが世界中の人と出会って友だちになるオンライン教育プログラム、「ミーツ・ザ・ワールド」です。ミーツ・ザ・ワールドは、保育園や幼稚園など、幼児施設専用のオンラインでのコミュニケーション活動のサービスで、子どもたちは、1週間毎に60分、月4回のセッションを通じて、様々な国

の人とのコミュニケーションを体験することができます。

様々な国の人と出会うこのサービスの目的は、語学教育や国際理解ではなく、コミュニケーション。毎月新しい国の人と出会い、「仲良くなれた!」という成功体験を積みみます。これにより、子どもたちは異なる文化の人と友達になりたいという意欲と姿勢を育むことができます。

国立成育医療研究センターの調べによると、現在、このコロナ禍で「学校に行きたくない」と感じている子どもは約4割に達しているそうで、福島県で不登校状態にある子どもの数も、文部科学省の2021年の調査では2,739人の上っていると報告されています。人と出会う機会が少なくなっていく子どもたち。ミーツ・ザ・ワールドは、福島県の子どもたちに、世界中に友だちがいる状態をつくるべく、2025年までに県内の子どもたち10万人が世界に出会うことを目標に、サービスを広げていきます。

🔥 世界に注目される幼児教育都市の実現へ

沖野さんは現在、郡山市との協働を進めています。市長の応援を受けながら、市内の私立保育園での0-2歳児への導入や、市のこども総合支援センターでのイベント開催などを準備中です。このサービスによって、地域の幼児施設は、子どもたちのコミュニケーション能力の発達を行う教育プログラムを安価で導入することができ、各施設の経営の助けにもなると考えます。

サービスが浸透した先にあるのは、世界に注目される幼児教育都市 FUKUSHIMA の実現。子どもたちは、地域の保育園や幼稚園の生活の中で、世界との新しい出会いをつくることができます。いまの時代に生まれた子どもたちは、これまでのどの時代よりも、国や文化が全く異なる人たちとまざりあって生きています。新しい出会いの数だけ驚きがあり、喜びがあることを、いち早く知るべきは幼い

子どもたち。しかし、そうした出会いの機会は、震災やコロナで幾度も奪われてきました。震災・コロナに子どもたちの自由を奪わせない! 沖野さんの固い決意です。



さっそく自己紹介してみよう!

ミーツ・ザ・ワールドのセッションの様子▲